

★★★◀ N I S T E P メールニュース (2015 年 3 月 31 日(火))発行 ▶★★★

科学技術・学術政策研究所 (N I S T E P) は、文部科学省直轄の国立試験研究機関として、科学技術・学術政策に関する様々な調査研究を行い、政策立案等に資するエビデンスの提供等に取り組んでおります。

本メールニュースでは、N I S T E P の最近の研究成果やその活動状況を紹介してまいります。

※現在サーバー移行中により handle.net が一時的に御利用いただけません。2015 年 4 月上旬に復旧予定です。調査報告書等は HP 内ライブラリホーム (<http://data.nistep.go.jp/dspace/>) から御覧ください。

<目次>

○報道発表

・「科学技術の状況に係る総合的意識調査 (NISTEP 定点調査 2014)」[NISTEP REPORT No.161, 162] の結果公表

<http://www.nistep.go.jp/archives/20811>

○ニュース

・科学技術指標 2014 英語版 (HTML 版) の公表

<http://www.nistep.go.jp/archives/20807>

・「第 1 回日本博士人材追跡調査結果 (速報版)」の公表

<http://www.nistep.go.jp/archives/20682>

○報告書

・「スーパーサイエンスハイスクール事業の俯瞰と効果の検証」[DISCUSSION PAPER No.117]の公表

<http://www.nistep.go.jp/archives/20846>

・「大学発ベンチャーの海外展開志向の決定要因」[DISCUSSION PAPER No.119]の公表

<http://www.nistep.go.jp/archives/20712>

・「科学技術動向」3・4月号の公表

<http://www.nistep.go.jp/archives/20793>

○イベント

・講演会「数学は世界を変えられるか? 忘れられた科学—数学から 10 年 数学イノベーションの現状と未来」の開催

<http://www.nistep.go.jp/archives/20763>

○報道発表

「科学技術の状況に係る総合的意識調査（NISTEP 定点調査 2014）」[NISTEP REPORT No.161, 162] ——

当研究所では、第4期科学技術基本計画期間中の我が国における科学技術やイノベーションの状況変化を把握するため、産学官の研究者や有識者への科学技術の状況に係る総合的意識調査(NISTEP 定点調査)を2011年度より実施しています。このたび、4回目となるNISTEP 定点調査2014の結果がまとまりました。

詳細につきましては、以下のリンクより御覧ください。

<http://www.nistep.go.jp/archives/20811>

○ニュース

科学技術指標 2014 英語版 (HTML 版)

当研究所では、我が国の科学技術活動を客観的・定量的データに基づき、体系的に把握するための基礎資料として、科学技術指標を作成しています。このたび、科学技術指標 2014 英語版 (HTML 版) を作成しました。

詳細につきましては、以下のリンクより御覧ください。

<http://www.nistep.go.jp/archives/20807>

「第1回日本博士人材追跡調査結果 (速報版)」

当研究所では、2014年11月から12月にかけて「第1回日本博士人材追跡調査」を実施いたしました。調査結果を取りまとめ、「第1回日本博士人材追跡調査結果 (速報版)」を作成いたしました。

詳細につきましては、以下のリンクより御覧ください。

<http://www.nistep.go.jp/archives/20682>

○報告書

「スーパーサイエンスハイスクール事業の俯瞰と効果の検証」[DISCUSSION PAPER No.117]

当研究所では、平成14年度から実施されているスーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業の経緯や変遷、SSH 指定校の変化等をエビデンスベースで示すことを試みました。その結果、(1)SSH 指定校の理系進学率は全国平均に比べ、2~3 倍程度高い。(2)都市部の SSH 指定校に比べ、地方の SSH 指定校の国公立系進学率が高い。(3) SSH 事業に関与している教員比率が高い SSH 指定校では、理系進学率が高い。(4) 学習指導要領によらない教科内容を積極的に実施する学校では、国公立系進学率が低い傾向があることが分かりました。

詳細につきましては、以下のリンクより御覧ください。

<http://www.nistep.go.jp/archives/20846>

「大学発ベンチャーの海外展開志向の決定要因」 [DISCUSSION PAPER No.119]

当研究所では、大学発ベンチャーの海外展開志向に影響を与える要因を調べるため、大学発ベンチャー457社を含むデータベースを用いて定量的な分析を行いました。分析結果から大学発ベンチャーの持つ技術志向の強さや公的支援を受けた経験の有無、ベンチャー企業の立地する地域の特性、設立母体となった大学の研究水準が大学発ベンチャーの海外展開志向の強さに影響していることが示されました。

詳細につきましては、以下のリンクより御覧ください。

<http://www.nistep.go.jp/archives/20712>

「科学技術動向」3・4月号

「科学技術動向」3・4月号では以下のレポートを掲載しています。

レポート1「海外におけるフォーサイト活動（その1）中国の技術予測活動の動向－全国技術予測会議と上海市の地域戦略ロードマップより－」

レポート2「オープンサイエンスをめぐる新しい潮流（その4）研究コミュニティに向けた協働データインフラの開発動向－欧州のEUDATの取組から－」

レポート3「IEEE論文に基づくIoT研究動向の計量書誌学的調査」

レポート4「拡散光及び光超音波イメージングによるがん診断技術の展望」

レポート5「デジタルファブリケーションの進展－ファブ拠点の地域展開と国際標準化の動向－」

詳細につきましては、以下のリンクより御覧ください。

<http://www.nistep.go.jp/archives/20793>

○イベント

講演会「数学は世界を変えられるか？ 忘れられた科学－数学から10年 数学イノベーションの現状と未来」

科学技術・学術政策研究所及び研究振興局数学イノベーションユニットによる講演会「数学は世界を変えられるか？ 忘れられた科学－数学から10年 数学イノベーションの現状と未来」を開催いたします。

日時：平成27年4月16日(木) 15:00～17:00

場所：文部科学省 科学技術・学術政策研究所会議室(16B)

参加申込先やプログラムの詳細につきましては、以下のリンクより御覧ください。

<http://www.nistep.go.jp/archives/20699>

=====

※本メールニュースの登録については、

<http://www.nistep.go.jp/about/nistep-newsletter> より、

配信先アドレスの変更・解除、本メールニュースへの御感想、御意見等の送付については、

<http://www.nistep.go.jp/about/contactus> より行ってください。

————[N I S T E Pメールニュース 〈2015年3月31日(火)発行〉]————

編集：文部科学省 科学技術・学術政策研究所 企画課

連絡先：

〒100-0013 千代田区霞が関 3-2-2(中央合同庁舎第7号館 16階)

TEL : 03-3581-2466(企画課直通)

FAX : 03-3503-3996

E-mail: office@nistep.go.jp

WEB : <http://www.nistep.go.jp/>
